

2022年度 つむぎ 調布ルーム 職員アンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。
今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

		質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について
体制設備、環境について	Q2	入口や支援室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、子どもが活動するに当たり安全な環境であるか。	3.9	お子さま、保護者様、そしてカフェを利用する近隣の方が安心して過ごせる地域に開かれた施設となるよう、引き続き環境設定に努めてまいります。
	Q3	職員の配置数、職員の専門性は適切であるか。	3.7	専門性につきましては、他ルームの専門職から学びを得られる機会を設定し、日々の支援に反映させられるような仕組みを整えてまいります。
	Q4	業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	4.6	十分な休憩および休暇を取ることで、リフレッシュしモチベーションが上がるよう、工夫してまいります。
	Q5	ルーム内の環境や支援員の人員体制について、ご意見をお聞かせください。		少人数のスタッフで日々支援に対応しておりますが、少人数だからこそ連携が取りやすいなどのご意見をいただいております。引き続き、スタッフ間での共有を大切に支援してまいります。
業務改善について	Q6	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参加しているか。	3.9	ルーム会議や勉強会を実施する中で、より多くの意見を集約し、PDCAサイクルを回していけるよう努めてまいります。
	Q7	保護者にアンケート調査等を行い、保護者の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	4.0	日々の保護者様との関わりから得たご意向やご意見をスタッフ間で共有し、どのように改善・対応することが良いかの話し合いを大切にしております。引き続き、必要に応じて業務改善し、より良いルームを目指してまいります。
	Q8	この自己評価表の結果を事業所内掲示やホームページなどで公開しているか。	4.4	アンケート結果は、ルーム内カフェに掲示し、保護者様にも閲覧していただけるようにするだけでなく、スタッフ間でも共有しております。
	Q9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3.4	第三者による外部評価の実施を、今後法人含め検討してまいります。
	Q10	職員の資質、療育スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	3.4	法人内で実施される子育てスキル講座や社内講師制度で研修の機会を確保しております。引き続き、調布市主催の外部研修を含めたルーム内研修等も積極的に参加できるような仕組みを整えてまいります。
	Q11	業務改善について、ご意見をお聞かせください。		引き続き、日々の業務を見直し、スタッフの皆様が安心してよりよく働くことができるような仕組みを整えてまいります。
適切な支援の提供について	Q12	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	3.9	初回、アセスメントからそれ以降のモニタリング・アセスメントは法人内で標準化されたツールを使用し、PDCAサイクルを回しております。また、今期モニタリングの方法を見直すことでよりよい方向に支援に繋がっております。
	Q13	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	4.1	保護者様のニーズを組み込み、保護者様からの視点とスタッフからの視点を客観的に分析し、個別支援計画を作成できるように努めております。
	Q14	グループ活動や個別支援のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	4.1	プログラムの立案方法など、支援目標に沿ったものになっているかに関しては、引き続き日々の記録の中で振り返るだけでなく、グループ活動振り返り時やケース検討会議等を通して、客観的に捉えていけるよう努めてまいります。
	Q15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4.3	引き続き、活動プログラムの展開や充実、バリエーションが増えるようにスタッフ間で共有したり、他ルーム研修を実施したりするなどして、幅を広げられるように努めてまいります。
	Q16	プログラム開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	4.0	支援内容につきましては、活動前に共有するだけでなく、その日の活動振り返り時に次の見通しまで確認できるように努めております。また、お子さまが楽しめる内容になっているか、スタッフ間の役割分担ができていないかなど事前に確認することを大切にしております。
	Q17	支援終了後には、職員間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	4.4	活動終了時にスタッフ間で必ずその日のうちに振り返りを行い、客観的に多角的に分析できるように努めております。引き続き、支援の質の向上に繋がっております。
	Q18	日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	4.0	法人内で決められたフォーマットを使用し、日々の記録を基にアセスメントを実施し、支援の検証・改善に繋がっております。
	Q19	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていないか。	4.4	モニタリングの実施方法を見直すことで、モニタリングを大切に、保護者様とコミュニケーションを取ることを心掛けております。定期的に保護者様に直近の家庭での様子や所属園での様子を聞きとる中で計画に反映させ、提示、ご同意をいただいております。
	Q20	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)	3.9	日々の支援の中で日常生活動作の自立や質の向上に繋がるような遊びや活動を実施し、お子さまが意欲的に取り組むことができるよう引き続き工夫してまいります。
	Q21	適切な支援の提供について、ご意見をお聞かせください。		
保護者との係連携間について	Q22	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3.9	活動のフィードバックの中で、日々のお子さまの状況を共有し、保護者様と共に目標合わせを大切にしております。今後とも共通理解を持って、お子さまを中心にし保護者様と共に成長できるように努めてまいります。
	Q23	所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に努めているか。	3.9	コロナ禍ではありますが、必要に応じて所属園の訪問実施や電話でのやり取りを行っております。引き続き、お子さまの生活基盤である所属園との情報共有を大切にしております。
	Q24	児童発達支援事業所同士で連携をとり、情報共有、相互理解に努めているか。	3.9	他事業所をご利用中のお子さまに関しましては、保護者様やご利用中の相談支援事業所を通じてサービス担当者会議の実施や個別支援計画書を共有させていただく中で、つむぎでの支援に汎用化できるように努めてまいります。
	Q25	児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供しているか。	3.9	他事業所へ移行される場合や放課後等デイサービスに移行される場合、保護者様からのご要望に応じて情報を提供させていただいております。引き続き、継続した支援を実施できるように努めてまいります。

保護者との関係機関や連携について	Q26	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3.1	調布市主催の研修等に参加する中で、支援について共有させていただき日々の支援に活かせるように引き続き努めてまいります。
	Q27	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	3.0	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など積極的に参加し、地域に根付いた事業所を目指してまいります。
	Q28	障害のない子どもと活動する機会を設けているか。	3.1	戸外活動時に近隣園との関わりや、きょうだい児との触れ合いを通して、機会を設定させていただいております。引き続きインクルーシブ社会を目指し、今できることを考えて活動してまいります。
	Q29	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	2.9	コロナ禍ではありますが、商店街ツアーやつむぎカフェの開放など積極的に地域に開かれた事業運営を行い地域住民との関係性を構築してまいります。
	Q30	保護者の子どもへの理解力・対応力の向上を図る観点から、保護者の状況に合わせた適切な支援を行っているか。	4.0	保護者様の今抱えている悩みを共有できるような関係性を構築し、引き続き保護者様の真のニーズを汲み取れるように努めてまいります。
	Q31	関係機関や保護者との連携について、ご意見をお聞かせください。		
保護者やお子さまへの対応などについて	Q32	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	3.9	分かりやすく簡潔に丁寧に伝えることをスタッフ一同心掛けております。保護者様が安心してお子さまを任せられるよう努めてまいります。
	Q33	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4.1	保護者様からの悩みや質問を真摯に受け止めお答えできるようにスタッフ一同努めてまいります。保護者様からの相談に幅広く、多角的にお答えできるようにスタッフ間でも共有してまいります。
	Q34	保護者同士が集まれる場の提供など、保護者同士の連携につながる支援を行っているか。	3.3	グループ活動のフィードバック時など保護者様同士でも会話が広がるような介入を心掛けております。コロナ禍でもあり、なかなか集まれる場の提供まではできていませんが、社会情勢を鑑みて、企画してまいります。
	Q35	子どもや保護者からの苦情があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	4.0	保護者様からのご意見は、スタッフ間で共有し迅速な対応を心掛けております。
	Q36	掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、子どもや保護者に対して情報を発信できているか。	4.0	コロナ禍ではありますが、体験学習のお知らせのみならず調布市で実施されるイベント等、カフェの掲示板を活用し、発信させていただいております。
	Q37	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例:分かりやすい言葉がけをしているか、専門用語を使い過ぎていないかなど)	4.1	誰が聞いても分かりやすい言葉掛けをスタッフ一同意識して日々の支援にあたっております。
	Q38	個人情報の取扱に十分注意しているか。	4.0	個人情報のお取り扱いに関しては最新の注意を払っております。お預かりしている情報は引き続き厳重に管理してまいります。
	Q39	職員同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	4.3	ルーム内では日々の朝礼・終礼・ケース検討会議・グループ支援の振り返り等を通して共有しております。他ルームや他機関との連携を行い、支援の質の向上に努めてまいります。
	Q40	保護者や子どもへの対応などについて、ご意見をお聞かせください。		
	Q41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	4.0	マニュアルにつきましては日頃目の届く箇所に設置し、すぐに確認できる状態を作っております。また読み合わせを実施することでスタッフ全員が理解して運営できるように努めております。
非常時の対応について	Q42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	4.3	毎月、避難訓練を実施しております。災害時に備えた動きを確認することで、非常時にも対応できるよう、努めてまいります。
	Q43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	3.9	研修を実施する他、スタッフ間で日々の関わりを客観的に見直し、虐待とは具体的にどのようなものを示すか行動レベルに落とし、意識を高めてまいります。
	Q44	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	4.3	引き続き、終礼の中で毎日共有し、事故原因の把握と対応に努めてまいります。
	Q45	非常時の対応について、ご意見をお聞かせください。		
	Q46	子どもはつむぎに楽しく通っていると思うか。	4.1	日々の支援のフィードバックやアンケートを通じて、保護者様から嬉しいお声を沢山いただいております。これを励みに今後とも、お子さまが楽しく通える仕組みや環境を整えてまいります。
満足度について	Q47	つむぎの支援を通じて、子どもの変化や成長を実感することがあるか。	4.3	つむぎでの様子や、ご家庭、所属園での様子を共有していただく中でも、日々小さな成長から大きな成長まで一緒に感じております。引き続き、この喜びを共有する中で私たちスタッフの励みとしてまいります。
	Q48	設問事項に関わらず、ご意見・改善点などなんでもお聞かせください。		

アンケート実施期間：2022年8月12日～9月5日

全回答数：7

つむぎ 調布ルーム
施設長 下町 紗世